

DRVR518S

後方録画用ドライブレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属の microSD カードに映像やデータを録画保存します。
必ず microSD カードを挿入してからお使いください。

P.13

録画機能について

本機は運転している（本機の電源がオンになっている）間の映像を録画することができます（常時録画）。

さらに、運転中に車両に大きな衝撃が加わった前後または衝撃後の映像を記録することができます（イベント（衝撃）記録）。

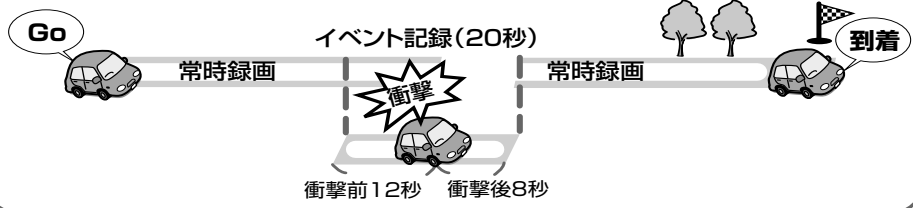
常時録画 P.16

本機の電源オンから電源オフまで常に録画しています。



イベント（衝撃）記録 P.16

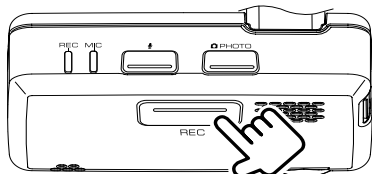
本機が衝撃を検知すると常時録画からイベント（衝撃）記録に切り替わり、衝撃を検知した前後の映像ファイルを保存します。



その他の録画機能

手動録画：

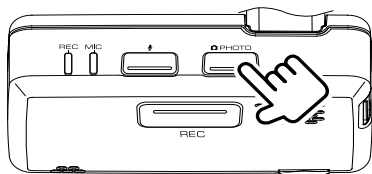
本機の [REC] ボタンを押すと、映像を手動で録画することができます。



P.17

静止画記録：


本機の [PHOTO] ボタンを押すと、撮影中の映像を静止画として記録することができます。

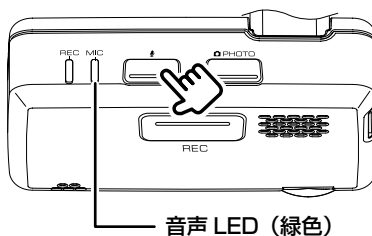


P.17

■ 録画時のマイクの音声を設定する

押すたびに「OFF」と「ON」が切り替わります。「ON」に設定されると音声 LED が点灯（緑色）します。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

[] ボタンを押す



音声 LED (緑色)

録画ファイルの再生方法について

録画ファイルの再生方法は専用ビューアソフトから再生することができます。

- 専用ビューアソフトで再生する・・・20 ページ

本機の設定をする

録画機能や、衝撃検知の感度などの設定を変更できます。
設定方法はパソコンに専用ビューアソフトをインストールして行います。

ビューアソフトで設定する



P.29


■ 録画画質の設定

録画画質は、高画質 / 標準画質 / 長時間画質から設定できます。画質の種類、録画時間 / 記録枚数の目安は、15 ページをご覧ください。

■ 録画ファイルの上書き設定

- イベント（衝撃）記録、手動録画で録画されたファイルの保存可能領域がなくなったときに、古いファイルから自動的に上書きされます。お買い上げ時は、上書きする「ON」に設定されています。
- ビューアソフトで上書きしない設定に変更することもできます。30 ページをご覧ください。

■ 録画時のマイクの音声を設定する

- 録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。お買い上げ時は「ON」に設定されています。
- ビューアソフトで設定を変更することができます。30 ページをご覧ください。
- 本機の「」ボタンを押しても設定を切り替えられます。本機で変更する場合は 3 ページ / 11 ページをご覧ください。

ビューアソフトについて



ビューアソフトは、本機に付属の microSD カードの中に保存されています。また、ホームページからダウンロードすることもできます。
インストールについては 19 ページの「ビューアソフトをインストールする」をご覧ください。

目次

ドライブレコーダー機能ガイド	2	フォルダ / ファイル構成	18
録画機能について	2	録画または記録したファイルを再生する	19
その他の録画機能	3	DRIVE REVIEWER for Rear の動作環境 ..	19
録画ファイルの再生方法について	3	ビューアソフトをインストールする ..	19
本機の設定をする	4	ビューアソフトのインストーラーをダウンロードする	19
ビューアソフトについて	4	アプリケーションを起動する	20
安全に正しくお使いいただくために ..	6	再生する	20
使用上のご注意	8	画面の操作	20
本機について	8	Google Earth プロで使用するデータを出力して読み込む	25
本機で使用できる SD カードについて ..	10	microSD カードのデータをパソコンにバックアップする	26
GPS について	10	バックアップフォルダを設定する	26
本機のお手入れ	10	バックアップした映像を見る	28
本機の異常にお気づきのときは	10	設定を変更する	29
各部の名称とはたらき	11	設定を変更する	29
LED / 報知音による通知	12	microSD カードをフォーマットする ..	32
microSD カードを入れる / 取り出す	13	専用サイトにアクセスしてフォーマットする	32
本機の日付と時刻について	14	システムを更新する	33
電源をオン / オフする	14	専用サイトにアクセスしてシステムを更新する	33
電源をオンにする	14	故障かなと思ったら	34
電源をオフにする	14	主な仕様	38
本機のバックアップ電源について	14	付録	39
録画する	15	ソフトウェアについて	39
画質について	15	商標について	40
録画時間 / 記録枚数の目安	15	保証とアフターサービス	41
電源オン時の録画と記録	16		
常時録画	16		
イベント (衝撃) 記録	16		
静止画記録	17		
手動録画	17		

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車両火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること。
 注意	記載事項を守らないと、傷害につながるおそれがあること。
注意	記載事項を守らないと、車両や装備品の故障や破損につながるおそれがあること。

警告

● 機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

● 異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起きた場合は、安全な場所に車を停車し、microSD カードを抜いた後、必ずお買い上げの代理店または代理店が指定した販売店に連絡する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

● 故障や異常な状態のまま使用しない

画像が記録できない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

● 運転者は走行中に操作したり、表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

● 分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災、感電、故障の原因となります。

● microSD カード挿入口に手や指を入れない

ケガの原因となります。

● microSD カードは、お子様に触れさせない

誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な障害につながります。また最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

● 危険な運転はしない

本機が衝撃を検知するかを確かめるため故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。

● コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

注意

- 本機は、危険運転の際の状況を記録することが目的です。イタズラその他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与える、落とすなどはしないでください。火災、故障のおそれがあります。
- 本機は直射日光が当たると、高温になり、火傷をする可能性があります。
- クリーナーなどのスプレーや水分等を本機にかけないでください。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を録画 / 記録することを保証したものではありません。

使用上のご注意

本機について

- 高温、低温でのご使用は、誤動作や故障の原因になります。夏期については車内が高温になることがありますので窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- カメラレンズの近くに反射物を置かないでください。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- コードにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象*が発生したり、その光源中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。



*ブルーミング現象とは高輝度の被写体（太陽やヘッドライトなど）がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生することです。

- 本機の日時や位置情報を定期的に確認してください。日時がずれているときや、位置情報が変わらないときはお買い上げの代理店または代理店が指定した販売店にご相談ください。
- 以下の場合などは、衝撃の検知による映像の保存ができないことがあります。
 - 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
 - 本機の本体が適切固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合
- 映像が記録されなかった場合や記録されたファイルが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は映像を記録する装置ですが、必ずしも信号の状態が確認できることを保証した装置ではありません。環境によって信号が確認できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録が一杯になると古い映像から消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のイグニッションキーをオフ（ACCをオフ）にし、microSDカードを抜いて必要なデータをパソコンに保存するなどの対応を行ってください。
- 使用温度範囲内での使用にて本体が熱くなることがあります。本体の動作により発熱しているだけで、故障ではありません。使用温度範囲を超えた環境での使用は、故障の原因となりますので使用温度範囲内で使用ください。
- 可動部や操作部、microSDカード挿入口に無理な力を加えないでください。故障や破損、両面テープ剥がれの原因となります。

- 車両への荷物積載時に本機に荷物が当たらない様にご注意下さい。
- 本機は防水モデルではありません。本機に雨などがかからないようにご注意ください。
- 代理店または代理店が指定した販売店にて、車両の点検、修理をさせていただく際、お客様の録画データを保護するため、本機の録画を停止させていただく場合があります。
- 一部の車両では、映像に車両部品や荷室にある物がリアガラスに反映し、映り込む場合があります。
- 録画したファイルの映像に車両のリアガラスの熱線が映り込む場合があります。
- トンネル出口など暗い所から明るい所へ移動した際に、映像の白飛びが起きる場合があります。
- リアガラスに水滴が付いているとき、汚れているときなどは、映像が見えにくくなる場合があります。
- リアガラスが曇っていたり、汚れている場合は、リアデフロスターやリアワイパーを併用してください。
- 本機は、必ずリアガラスに直接貼り付けてください。
- 車両バッテリーの状態により、アイドルストップからのエンジン始動時に本機が再起動する場合があります。
- 車種によっては、取り付け角度が下向きになっています。
- microSD カードの抜き差しは、本機の電源が切れていること(LEDが消灯)を確認して行ってください。本機が動作中に microSD カードの抜き差しを行うと、microSD カードが破損するおそれがあります。
- microSD カードのデータへのアクセス中(LEDが点灯中)は、絶対に microSD カードを抜かないでください。microSD カードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- 以下の場合などは、衝撃の検知による映像の記録ができないことがあります。
 - 本機に microSD カードを正しく挿入していない場合
 - microSD カードの破損、故障、寿命等で正常な記録や読み出しができない場合
 - 本機から microSD カードを抜いた場合
 - 本機に付属または純正の microSD カード以外を使用した場合
 - 記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
 - 事故や水没などで本機および microSD カードが損傷を受けた場合
 - 事故の場合などでバッテリーと本機間の電源コードが断線した場合、または、バッテリーが損傷を受けた場合
 - リアガラスの曇りや雨、雪などで本機の視界がふさがれた場合
 - 上書き保存ができない場合
- microSD カードは、半永久的に記憶を保持できるものではありません。
大切な録画データは、パソコンにコピーするなどのバックアップを行ってください。
- microSD カード内にあるファイル名をパソコンなどで変更しないでください。本機やビューアソフト「DRIVE REVIEWER for Rear」で正しく再生できなくなります。

本機で使用できる SD カードについて

- 本機に付属または純正の microSD カードを使用してください。付属品または純正品以外では正しく動作しないことがあります。
- microSD カードには、本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- microSD カードのフォーマットは 32 ページの「microSD カードをフォーマットする」の操作にしたがってフォーマットを行ってください。他の方法でフォーマットを行うと本機で使用できない、または、映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- 本機とパソコン以外で本機に付属または純正の microSD カードを使用しないでください。他の機器で使用すると本機で正しく動作できなくなる可能性があります。
- 本機とパソコン以外で本機に付属または純正の microSD カードを使用しないでください。他の機器で使用すると本機で正しく使用できなくなる可能性があります。
- microSD カードには寿命があります。データの書き込みやファイルの再生などができなくなるため、大切なデータはパソコンにコピーするなどのバックアップを行ってください。
- 純正の microSD カードは、代理店または代理店が指定した販売店でお買い求めください。

GPS について

- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができません。
 - トンネルの中やビル内の駐車場
 - 2 層構造の高速道路の下
 - 高層ビルの群衆地帯
 - 密集した樹木の間
- GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができません。
- 3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。
- GPS を正しく受信できないときの録画や記録ファイルは時刻情報が正しく表示されません。(→ P.14)

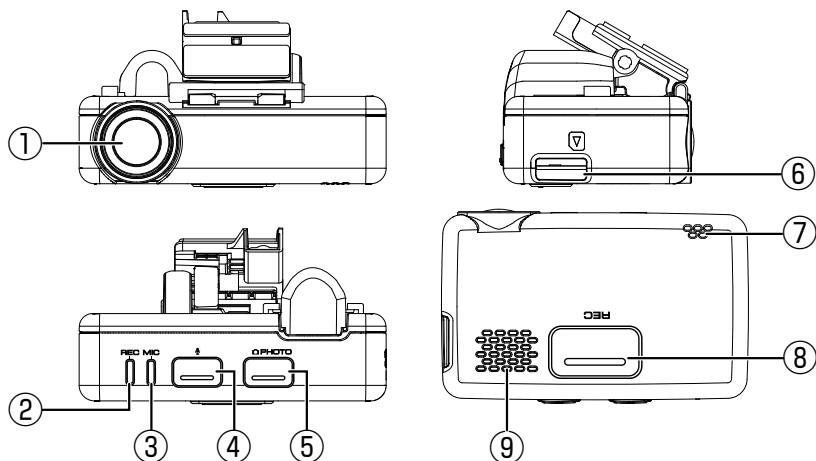
本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもの拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- カメラレンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず 34 ページの「故障かなと思ったら」を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの代理店または代理店が指定した販売店にてご確認ください。

各部の名称とはたらき



① カメラレンズ部

② REC LED

録画中に点灯（青色）します。

③ MIC LED

音声記録 ON 設定時に点灯（緑色）します。

④ [M] ボタン

押すたびに音声記録をする / しないを設定します。

⑤ [PHOTO] ボタン

静止画を撮影記録します。

⑥ microSD カード挿入口

⑦ マイク

録画中の音声を収録します。マイクは本体に内蔵されています。

⑧ [REC] ボタン

押すと手動で録画します。

⑨ スピーカー

音声ガイダンスや報知音を出力します。

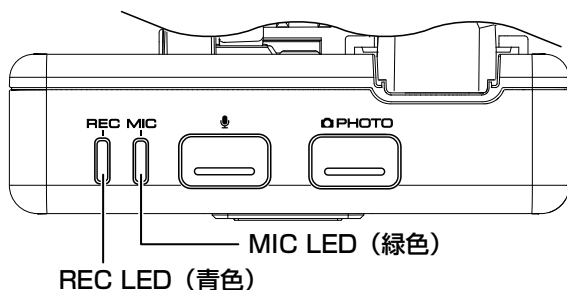
お知らせ

- 荷物などが本機のボタンに当たると、手動録画や静止画記録が始まったり、「音声記録」の設定が変更されることがありますので注意してください。また、荷物が本機に当たると、両面テープがはがれ、本機が落下することがありますので注意してください。
- 本機のボタンが機能しないときは、「チャイルドロック」の設定が「ON」になっていないか確認してください。「チャイルドロック」の設定については、31 ページの「チャイルドロック」の設定を変更してください。

LED/報知音による通知

LED と音声、報知音で本機の状態をお知らせします。お買い上げ時は「通知音量」の設定が「OFF」に設定されています。

- 「通知音量」の設定については、31 ページの「通知音量」の設定を変更してください。



■ 報知音

条件	報知音	LED	
		REC (青色)	MIC (緑色)
常時録画開始	ピコン (↑)	点灯	—
常時録画停止	ピコン (↓)	消灯	—
手動録画開始	ピコン (↑)	点灯	—
イベント (衝撃) 記録開始	ピロリン (↑)	点灯	—
静止画記録	カシャ	—	—
ファイル数制限で記録できず	ダダンダダン	—	—
音声記録 ON	ブツ	—	点灯
音声記録 OFF	ブツ	—	消灯

お知らせ

- ・エラー通知 (音声) については、故障かなと思ったら (→ P.34) を参照してください。

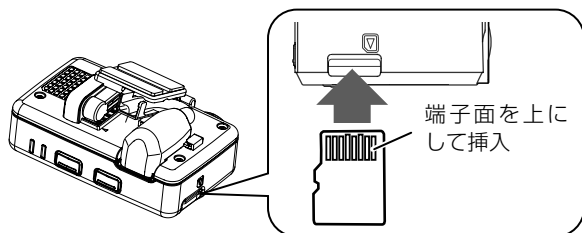
microSD カードを入れる / 取り出す

お知らせ

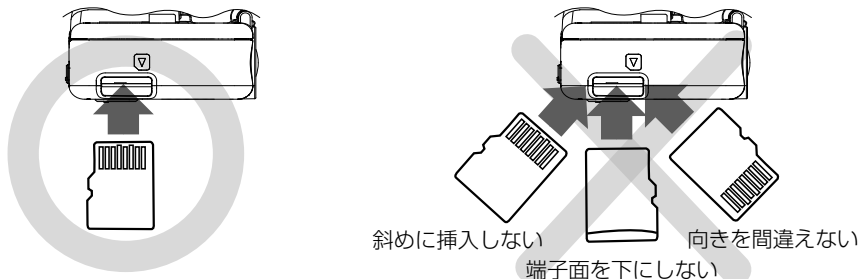
- microSD カードには本機で記録されるデータ以外保存しないでください。
- microSD カードを挿入しないと、本機は動作しません。microSD カードの入れ忘れにご注意ください。

■ microSD カードを入れる

- 1 車両のイグニッションキーを「OFF」にして本機の電源をオフにする
- 2 本機を手で支えて、付属の microSD カードの端子面を上にして、突き当たるまで奥に差し込む



microSD カード挿入時のご注意



■ microSD カードを取り出す

- 1 車両のイグニッションキーを「OFF」にして本機の電源をオフにする
- 2 microSD カードを押して、microSD カードが少し飛び出たら引き抜く

お知らせ

- microSD カードを取り出すときは、本機の電源がオフ（LED が消灯）になっていることを確認してください。
- microSD カードへアクセス中（LED が点灯）は microSD カードを取り出さないでください。
- 電源がオンになっているときに microSD カードを取り出すと、microSD カードのデータが破損することがあります。

本機の日付と時刻について

本機の日付と時刻は動画、静止画のファイル名として使用されます。(→ P.18)
本機の電源がオンのときに GPS を正しく受信すると自動で設定されます。

お知らせ

- ・イグニッションキーを「ON」にしたあとの GPS が受信できるまでの数分間は、正しい日付と時刻が録画ファイルに反映されません。

電源をオン / オフする

電源をオンにする

車両のイグニッションキーを「ON」にすると本機の電源がオンになります。電源がオンになると、録画 LED（青色）が点灯し、常時録画が始まります。

電源をオフにする

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると本機の電源がオフになります。

本機のバックアップ電源について

本機は、事故の衝撃で電源が遮断される場合を想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップ時間が短くなる場合があります。バックアップ電源により、電源遮断前の映像を記録しますが、必ず記録することを保証するものではありません。

録画する

本機は、電源オン時に常時録画、イベント（衝撃）記録、手動録画、静止画記録があります。

お知らせ

- 次の状態のときは録画は停止します。
 - microSD カードが挿入されていないとき
 - ファイルの上書き設定が「OFF」に設定されていて、最大保存できるファイル数や時間が最大になったとき（常時録画には上書き設定はありません。）

画質について

本機は動画または静止画を録画するときの画質を設定することができます。

■ 画質の種類（解像度）

高画質 / 標準画質 / 長時間

- お買い上げ時は「標準画質」に設定されています。
- 画質設定の変更については、30 ページの「動画画質」の設定を変更してください。
- 静止画は、「動画画質」の設定が「高画質」、「標準画質」のいずれかに設定されているときは FULL HD 解像度（1920 × 1080）で保存されます。「長時間」に設定されているときは HD 解像度（1280 × 720）で保存されます。

録画時間 / 記録枚数の目安

付属の microSD カード 8GB 使用

種類	画質		
	高画質 FULL HD (1920 × 1080) 12.0Mbps	標準画質 FULL HD (1920 × 1080) 6.5Mbps	長時間画質 HD (1280 × 720) 3.8Mbps
常時録画	最大 70 分	最大 140 分	最大 230 分
イベント (衝撃) 記録	最大 10 件 (1 件あたり 20 秒)		
静止画	最大 100 枚		
手動録画	最大 20 件 (1 件あたり 20 秒)		

お知らせ

- 録画時間と記録枚数は、microSD カードに保存されているファイルにより異なります。
- 大切なデータはすぐにパソコンなどへバックアップを行ってください。

電源オン時の録画と記録

本機の電源がオンになると常時録画を開始します。

常時録画

本機の電源がオンになると、常時録画を開始します。常時録画の録画時間は、画質の設定によります。

- 録画ファイルは 1 ファイル約 2 分ごとに保存されます。

お知らせ

- 常時録画ファイルは保護できません。
- microSD カードの録画領域がなくなると古い日時のファイルから順に消して録画を続けます。

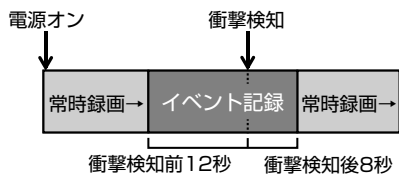
■ 録画ファイルの保存場所

microSD カード内の「NORMAL」フォルダに保存されます。(→ P.18)

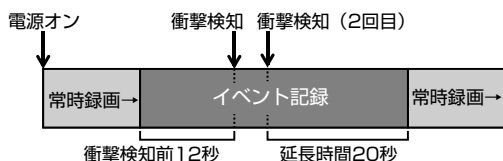
イベント（衝撃）記録

常時録画中に突発的な衝撃などを検知すると、常時録画を中断してイベント（衝撃）記録を開始します。

- イベント（衝撃）記録時間は、衝撃検知前の 12 秒と衝撃検知後の 8 秒で 20 秒です。イベント（衝撃）記録が終了すると常時録画に戻ります。
- 記録時間は変更できません。



- イベント（衝撃）記録が終了する前にさらに衝撃を検知すると、そこからイベント（衝撃）記録が 20 秒延長されます。
- 1 ファイルに記録される延長時間は最大約 60 秒です。約 60 秒を超える場合は、次のファイルとして記録されます。



お知らせ

- イベント（衝撃）記録モードは最大 10 ファイルまで保存されます。10 ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「上書き設定（イベント）」を「OFF」に設定しているときは上書きされず、その場合、最大 10 ファイルを超えると記録されません。

■ 録画ファイルの保存場所

microSD カード内の「EVENT」フォルダに保存されます。(→ P.18)

静止画記録

常時録画中に本機の [PHOTO] ボタンを押すと、静止画が記録されます。

お知らせ

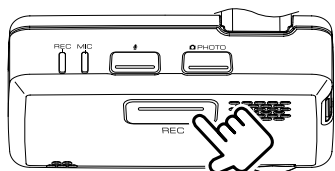
- 静止画は最大 100 枚まで保存されます。
- 100 枚を超えると古い日時のファイルから順に消します。
- 録画中に静止画を記録しても録画は中断されません。

■ 静止画ファイルの保存場所

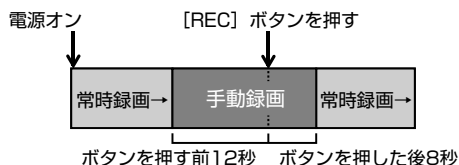
microSD カード内の「PICTURE」フォルダに保存されます。(→ P.18)

手動録画

常時録画中に本機の [REC] ボタンを押すと、常時録画を中断して、手動録画を開始します。



- 手動録画時間は、[REC] ボタンを押す前の 12 秒と押した後の 8 秒で 20 秒です。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。
- 録画時間は変更できません。



- 手動録画が終了する前にもう一度 [REC] ボタンを押すと、そこから 20 秒間延長されます。
- 1 ファイルに録画される延長時間は最大約 60 秒です。約 60 秒を超える場合は、次のファイルとして録画されます。



お知らせ

- 手動録画は最大 20 ファイルまで保存されます。20 ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「上書き設定 (手動)」を「OFF」に設定しているときは上書きされず、その場合、最大 20 ファイルを超えると録画されません。

■ 録画ファイルの保存場所

microSD カード内の「MANUAL」フォルダに保存されます。(→ P.18)

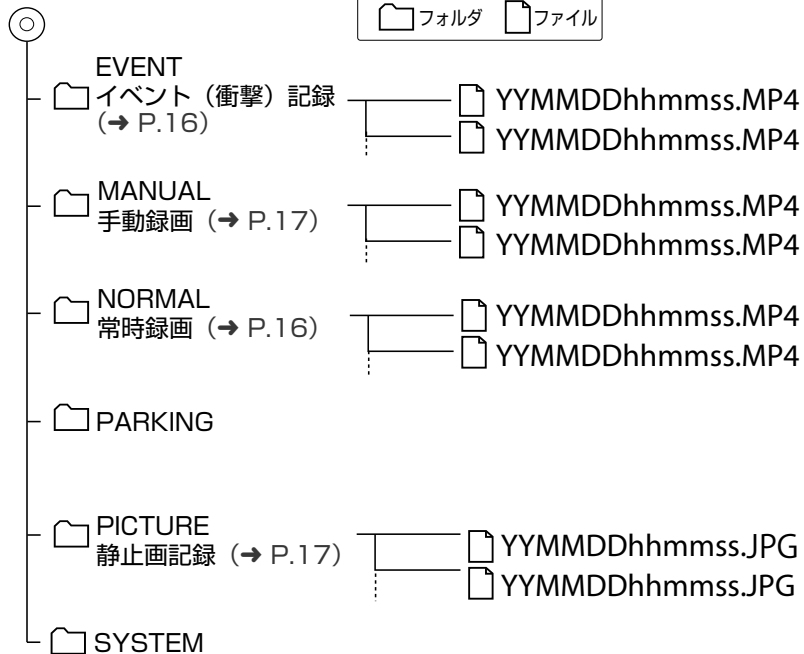
フォルダ / ファイル構成

microSD カードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。

お知らせ

- microSD カード内にあるファイル名をパソコンなどで変更しないでください。本機や DRIVE REVIEWER で正しくファイルが再生できなくなります。
- SYSTEM フォルダはファイルの位置情報などが含まれています。SYSTEM フォルダだけ削除するとファイルの位置情報が使用できなくなります。

ルート (microSDカード内)



■ ファイル名の表記について

YYMMDDhhmmss.MP4

YYMMDDhhmmss.JPG

年 月 日 時 分 秒

お知らせ

- GPS が正しく受信できないときのファイル名は GPS を最後に受信したときの日付と時刻に近い表示になります。

録画または記録したファイルを再生する

本機で録画または記録したファイルを再生するには、パソコン用専用ビューアソフト「DRIVE REVIEWER for Rear」が必要です。また、ファイルのバックアップなどもできます。

インストーラーは本機に付属の microSD カードに保存されています。

DRIVE REVIEWER for Rear の動作環境

OS	Windows 7 Service Pack 1 (32Bit/64Bit) Windows 8.1 (32Bit/64Bit) Windows 10 (32Bit/64Bit) Windows 10 mobile は除く
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上
メモリ	2GB 以上
ディスプレイ	1280 × 800 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	インターネット接続環境が必要です。

お知らせ

- ご使用のパソコンによっては、再生時に映像の乱れや遅れ、音声の音途切れなどが発生する場合があります。

ビューアソフトをインストールする

- 1 microSD カードを本機から取り外し (→ P.13)、付属の SD カード変換アダプターに挿入してから、カードリーダーを使用してパソコンに接続する
- 2 インストーラー「Setup_RE1-XX.msi」をパソコン内の任意の場所（デスクトップなど）にコピーする
- 3 コピーした「Setup_RE1-XX.msi」をダブルクリックする
- 4 セットアップウィザード画面の指示に従ってインストールを進める

お知らせ

- ユーザーアカウント制御の警告が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

- 5 「完了」をクリックする

インストールが完了します。

ビューアソフトのインストーラーをダウンロードする

付属の microSD カードに保存されているビューアソフトのインストーラーを microSD カードのフォーマットで消去してしまったときなどは、<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/> にアクセスして、車両メーカー名からお使いのドライブレコーダーの型番を選択してください。インストーラーをダウンロードすることができます。

アプリケーションを起動する

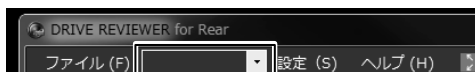
- 1 microSD カードを本機から取り外し、付属のSDカード変換アダプターに挿入してから、カードリーダーを使用してパソコンに接続する
- 2 「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「DRIVE REVIEWER for Rear E1」をクリックして起動する

お知らせ

- DRIVE REVIEWER for Rear を使用するときには他のアプリケーションは閉じてください。同時に立ち上げていると動作が遅くなることがあります。

再生する

- 1 microSD カードを接続しているドライブを指定する



映像が表示され再生が始まります。

お知らせ




- 再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりする場合があります。その場合は、ビューアソフトを終了させ、再度ビューアソフトを起動して映像を再生してください。

画面の操作



① 拡大表示機能

再生している映像画面の上下左右の場所を拡大したり、任意の場所を拡大表示します。

ボタン	説明
	拡大表示したときに押すと、通常画面に戻ります。
	画面左上、右上、左下、右下を拡大（2倍）表示します。
	表示される枠（①）を拡大したい位置に動かして、拡大率（②）をクリックするたびに1倍/2倍/3倍/4倍/5倍で拡大表示します。 [リセット]（③）を押すと等倍表示（1倍）になります。

② メニュー

ファイル

開く	フォルダを選択する	読み込むファイルが入っているフォルダを選択します。
	kmz/kml* にエクスポート	Google Earth プロに読み込むためのデータを出力します。
	バックアップ	データをバックアップするフォルダを選択します。
終了	ビューアソフトを終了します。	

*kmz ファイルまたは kml ファイルは Google Earth プロに読み込むためのデータです。

（ドライブ一覧）

microSD カードのドライブを選択します。

設定

本体設定	microSD カードに設定ファイルを書き込みます。
------	----------------------------

ヘルプ

バージョン	ビューアソフトのバージョンが確認できます。
-------	-----------------------

③ 映像再生画面

映像を再生または表示する画面です。

④ トラックバー / 再生時間











動画情報の再生位置を示します。再生位置に応じて、地図およびグラフの現在位置を更新します。

00:00:12/00:02:00

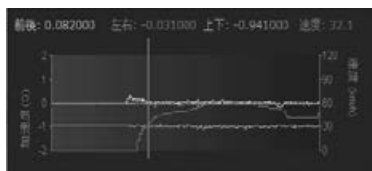
再生時間 / 総再生時間

⑤再生操作ボタン

ボタン	説明
	前 / 次のファイルを再生します。
	前 / 次のコマを表示します。
	再生を停止します。
	再生します。
	一時停止します。
	クリックすると再生中の動画を静止画として保存します。
	クリックするたびに×1・×2・×4・×8・×1/2と再生速度が切り替わります。
	音量を調整 (0 ~ 100) します。

⑥グラフ

再生中の動画ファイルに対応した加速度の大きさと速度の折れ線グラフです。



お知らせ

- 表示している G 値および速度は実際の G 値及び速度と異なる場合があります。
- 上下方向の加速度は、水平面に停車状態で約 -1G (重力) 付近になります。

⑦再生中のファイルのパス

再生中のファイルの格納場所を表示しています。



⑧スピードメーター

再生している動画ファイルの車両速度を表示します。



お知らせ

- 録画中にトンネルを走行しているときなど GPS が受信できない状態が約 15 秒続くと車両速度の表示は 0 (ゼロ) になります。
- 表示している車両速度はあくまで目安です。

⑨種類別一覧

表示をクリックすると③映像再生画面に録画または記録された映像が表示され、再生が開始されます。



「ファイル」、「静止画」の場合： ファイルの先頭位置の映像
記録開始日時*/ファイルの格納場所

「イベント」の場合：
記録開始日時*/イベント名

*：記録開始日時は、GPS が正しく受信していないときは「時刻情報なし (GPS 未受信)」と表示されます。

①ファイル

すべての動画ファイルの一覧を表示します。

②イベント

手動録画、イベント（衝撃）記録のファイルの一覧を表示します。

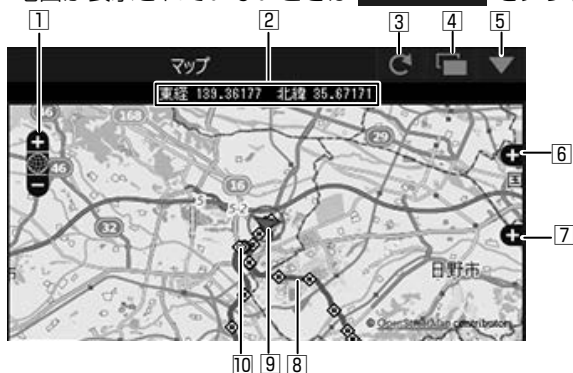
③静止画

静止画ファイルの一覧を表示します。

⑩地図表示ボタン

⑨の見たファイルをクリックすると、選択した動画ファイルの位置情報が地図上に表示されます。

地図が表示されていないときは **マップ ▲** をクリックしてください。



- ① 地図を拡大 / 縮小します。
- ② 緯度・経度を表示します。
- ③ 地図を再読み込みします。
- ④ 地図を別ウィンドウで開きます。
- ⑤ 地図を非表示にします。 **マップ ▲** をクリックすると地図を表示します。
- ⑥ 地図上に表示される経路やアイコンの表示・非表示を選択できます。
- ⑦ 広域の地図で表示します。
- ⑧ 経路

2日以上経路を表示しているときは、日ごとに色を変えて表示します。

→ 1日目 青 → 2日目 赤 → 3日目 緑 → 4日目 白 → 5日目 マゼンタ → 6日目 水色 → 7日目 黄色 →

- ⑨ 選択中のファイルの自転車位置を表示します。

- ⑩ 各ファイルの先頭位置

アイコンにマウスカーソルを合わせるとファイルの先頭位置の映像が表示されます。クリックすると該当ファイルを再生します。

お知らせ

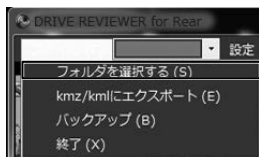
- microSD カードの容量（常時録画）またはファイル数の制限（手動録画、イベント（衝撃記録）によりファイルが消去されます。消去された部分については地図上に表示されません。
- 起動直後やビル街、トンネル、高架下などの受信環境が悪い場所の走行や GPS 衛星の状態によっては、GPS の情報が正常に受信できず、地図上での自転車位置ずれや速度、経路表示の色が正しく表示されないことがあります。
- 地図を表示するには、インターネットに接続する必要があります。

Google Earth プロで使用するデータを出力して読み込む

準備

- データを出力する前に、お使いのパソコンに Google Earth プロ（パソコン向け）をインストールしてください。Google Earth プロは、Google のサイトからダウンロードできます。

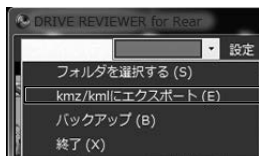
- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



- 4 microSD カードの Google Earth プロで使用するデータを出力するデータのフォルダを選ぶ



- 5 メニューの「ファイル」－「kmz/kml にエクスポート」をクリックする



- 6 保存先を選択し、保存するファイル名を入力して、「保存」をクリックする



お知らせ

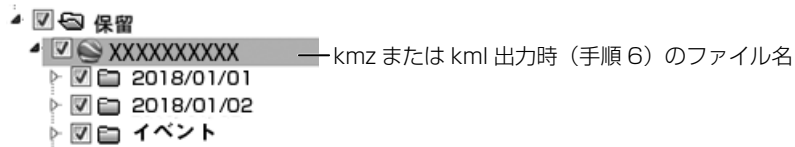
- kmz は kml ファイルを zip 圧縮したものです。どちらのファイルでも Google Earth プロで読み込むことができます。

7 「出力が完了しました」と表示されたら「OK」をクリックする

8 Google Earth プロ (Google Earth Pro) を起動する

9 見たいファイルを選択する

画面左側に保留フォルダと保存したデータのファイル名が表示されます。ファイル名をクリックすると保存したデータが表示されます。



フォルダの✓点を外すと外したデータの表示が地図から消えます。

お知らせ

- Google Earth プロの操作については Google Earth プロのヘルプなどをご覧ください。

microSD カードのデータをパソコンにバックアップする

microSD カードは容量の関係から、保存しておける映像の数が限られています。microSD カード内の必要な映像データはパソコンのハードディスクなどに定期的にバックアップしてください。ビューアソフトを使って microSD カードの記録データをバックアップすると、位置情報などのシステムファイルと関連付けたまま保存することができます。

バックアップフォルダを設定する

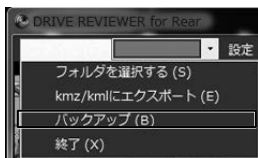
- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



- 4 microSD カードのバックアップをするデータが入っているフォルダを選ぶ



5 メニューの「ファイル」－「バックアップ」をクリックする



6 バックアップする保存先を選択して、「OK」をクリックする



7 バックアップするファイルにチェックを付けて、「実行」をクリックする



ファイル

最初にはすべてのファイルに "✓" 点が付いています。
バックアップしないデータは "✓" 点をクリックして選択を解除してください。

お知らせ

- 「全解除」をクリックするとすべての "✓" 点が解除されます。
- 「全選択」をクリックするとすべてに "✓" 点が付きます。
- バックアップデータのフォルダ名はバックアップをクリックしたときの日時になります。変更したい場合は「作成するフォルダ」を書き替えることができます。
- 「変更」をクリックするとバックアップ先を変更することができます。

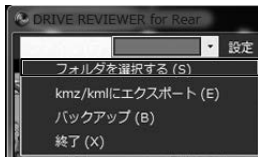
8 メッセージが表示されたら「はい」をクリックする

お知らせ

- バックアップの保存先を設定していない場合は、「マイ ビデオ」または「ビデオ」（ご使用の Windows のバージョンによって異なります）に設定されています。

バックアップした映像を見る

- 1 ビューアソフトを起動する
- 2 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



- 3 バックアップしたデータのフォルダを選ぶ
- 4 見たい映像ファイルのフォルダを選択する
再生画面が表示され、動画ファイルを再生することができます。

設定を変更する

ビューアソフトで本体の設定を変更することができます。変更した設定情報を microSD カードに保存します。

設定を保存した microSD カードを本機に挿入し、電源をオンにすると自動的に本体の設定が変更されます。

設定を変更する

- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「設定」をクリックして、「本体設定」をクリックする



- 4 microSD カードを接続しているドライブを指定して、「OK」をクリックする



- 5 各設定を変更する (30 ページ～ 31 ページ)

お知らせ

- 本体の設定画面は 3 つ (駐車録画 / 動画記録 / システム) ありますが、設定を変更できるのは動画記録とシステムの項目だけになります。

- 6 「OK」をクリックする

設定情報が microSD カードに保存されます。

お知らせ

- microSD カードに設定データがない場合、またははじめてご使用になる場合は、「設定ファイルが読み込めません」とメッセージが表示されますので「OK」をクリックしてください。

- 7 メッセージが表示されたら「はい」をクリックする
- 8 メッセージが表示されたら「OK」をクリックする

■ 動画記録の設定をする

「動画記録」をクリックする

*：お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
動画画質	高画質 / 標準画質* / 長時間	常時録画、イベント（衝撃）記録、手動録画の画質を設定します。（個別に画質の設定はできません。）
音声記録	OFF/ON*	録画時にマイクの音声を記録するかどうかを設定します。
上書き保存（手動）	OFF/ON*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。
上書き保存（イベント）	OFF/ON*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。
感度設定（イベント）	1/2/3/4*/5	本機が衝撃を検出する感度を設定します。 1（大きな衝撃で検知します）～5（小さな衝撃で検知します）

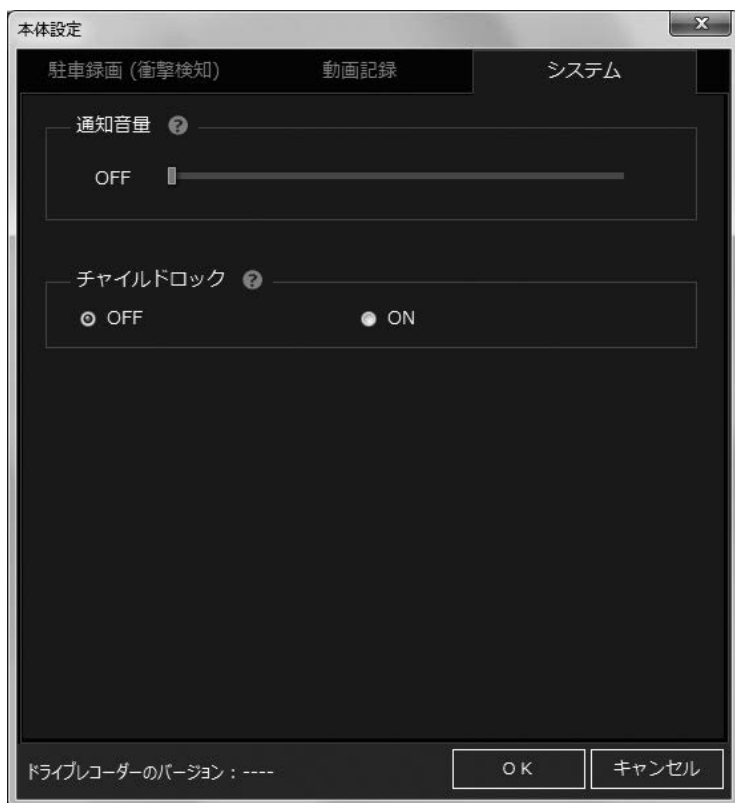


■ システムの設定をする

「システム」をクリックする

*：お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
通知音量	OFF*/1 ~ 5	報知音と音声ガイダンスの音量を設定します。
チャイルドロック	OFF*/ON	ON に設定すると、本体のボタン操作がすべて無効になります。



microSD カードをフォーマットする

映像の再生やファイルのバックアップなどでエラーが表示される場合は、microSD カードのデータが破損している可能性がありますので、microSD カードをフォーマットしてください。

フォーマットの方法は、専用サイトにアクセスしてフォーマットする方法があります。

お知らせ

- 基本的に microSD カードのフォーマットは必要ありません。microSD カードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本機が起動しない場合のみフォーマットしてください。
- パソコンに標準の SD カードフォーマットは使用しないでください。
- microSD カードをフォーマットすると、microSD カードのビューアソフトのインストーラーおよび保護されているファイルを含めすべてのデータが消去されます。ビューアソフトをパソコンにインストールしていない場合は、先にビューアソフトをパソコンにインストールしてください。(→ P.19) また、必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

専用サイトにアクセスしてフォーマットする

1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する

2 SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する

SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、専用サイトを参照ください。

- (1) Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、専用サイトに <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/> にアクセスします。
- (2) 車両メーカー名からお使いのドライブレコーダーの型番を選択してください。
- (3) 「SD メモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。
- (4) 記述されている手順に従って、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。

3 SD メモリーカードフォーマットソフトウェアでフォーマットする

システムを更新する

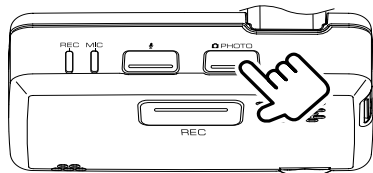
本機のシステムファームウェアを更新します。
アップデートに関する情報は、専用サイト <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/> をご覧ください。

お知らせ

- 本機のバージョンが最新のアップデートファイルと同じバージョンの場合は microSD カードを挿入してもアップデートは開始しません。

専用サイトにアクセスしてシステムを更新する

- 1 microSD カードをフォーマットする
フォーマットについては 32 ページの「microSD カードをフォーマットする」をご覧ください。
- 2 専用サイト <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/> にアクセスして車両メーカー名からお使いのドライブレコーダーの型番を選択する
- 3 アップデートファイル「update.bin」を microSD カードのルートフォルダーにコピーする
- 4 microSD カードを本機に挿入する
- 5 本機の [PHOTO] ボタンを押しながら車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にする



しばらく押したままにしていると記録 LED(青)が点滅しアップデートを開始します。アップデートが完了すると記録 LED(青)が消灯し、本機が自動で再起動します。

故障かなと思ったら

■ 本体

質問	原因 / 対処
記録した音声小さい。	本機の録音機能は音声を録音する目的ではなく、映像の補助としての周囲の音を記録する目的のため、記録音量は低めに設定されています。もし、録音された音が極端に小さいようであれば、本機の内蔵マイク（集音部）が覆われているようなことがないか、ご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> 「音声記録」が「OFF」になっていないか確認してください。（→ P.30）
車両のイグニッションキーを「ON」にしてもLEDが点灯しない、または電源が入らない。	本機に電源が供給されていない可能性があります。お買い上げの代理店または代理店が指定した販売店にご相談ください。
カーナビに本機のmicroSDカードを挿入して、映像が再生できませんか。	本機で録画したファイルは専用のビューアソフト「DRIVE REVIEWER for Rear」（→ P.19）でのみ再生できます。カーナビでは再生できません。
報知音の音量が小さい。	ビューアソフト（→ P.31）で音量を変更してください。
1 ファイルの記録時間を変更できますか。	録画モードの記録時間は変更できません。
録画または記録したはずの映像がありません。	<ul style="list-style-type: none"> 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録可能時間や記録件数の上限を超えると、古い記録から上書き保存されるため録画または記録したファイルが無くなっていることがあります。必要に応じて、microSDカードのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください。上書き保存しないように設定することもできますが、「上書き保存」の設定を「OFF」にしているときは、上限を超えると、それ以上の記録または録画は開始されません。 本機の電源をONにした後、1分以内に電源をOFFにすると記録できないことがあります。
走行中、頻繁にイベント（衝撃）記録モードの録画が実施されます。	「動画記録設定」の「感度設定」を現在の設定より小さい数字に設定してみてください。（→ P.30）
本体が熱くなることがあるが異常ではありませんか。	使用温度範囲内での使用にて本体が熱くなることがあります。本体の動作により発熱しているだけで、異常ではありません。
信号の色が記録されないことがあります。	映像の記録周期とLED方式の信号機の点滅周期によっては、一瞬信号が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。

質問	原因 / 対処
車両のイグニッションキーを「OFF」にしても本機の電源が切れ ない。	お買い上げの代理店または代理店が指定した販売店に ご相談ください。
本体が起動しません。	お買い上げの代理店または代理店が指定した販売店に ご相談ください。
microSD カードに映像が記録でき ません。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機に付属または純正の microSD カードを使用し ていない可能性があります。付属または純正の microSD カードを必ず使用してください。市販の microSD カ ードは使用しないでください。 • microSD カードに異常がある可能性があります。 microSD カードのフォーマットを行ってください (→ P.32)。ただし、フォーマットをすると microSD カードデータはすべて消去されます。必要な データはパソコンなどにバックアップしてください。 • 付属の microSD カードを他の機器で使用してから本 機で使用すると、本機で正しく動作しないことがあり ます。付属の microSD カードを他の機器では絶対に 使用しないでください。 • 本機の温度が高温になっている場合は、車内の温度を下 げてください。保護機能が解除され、録画ができるよ うになります。
記録時間が短い。	常時録画の映像が多く記録されていると、常時録画の時 間は短くなります。また、microSD カードにドライブレ コーダーとは関係のないファイルが入っていても、記録 領域が狭くなるため記録時間が短くなります。
録画または記録した映像が再生でき ない。	microSD カード内にあるファイル名をパソコンなどで変 更すると、「DRIVE REVIEWER for Rear」で正しくファ イルが再生できなくなります。
録画ファイルを再生すると数秒間極 端に明るくまたは暗く表示された。	本機の電源を ON にした直後はこのように表示されるこ とがあります。
GPS を受信するまでの動画の日時が 2018 年 1 月 1 日になる。	モード設定が間違っている可能性がありますので代理店 または代理店が指定した販売店にご相談ください。
車両のイグニッションキーを「ON」 にした後の映像がない。(GPS 未受信 のときの映像がない)	モード設定が間違っている可能性がありますので代理店 または代理店が指定した販売店にご相談ください。

■ エラー通知（音声）

音声ガイダンス	原因 / 対処
SD カードがありません (電源 ON 時にガイダンスしてから3分後に再度ガイダンスします。)	microSD カードが入っていません。 本機の電源を OFF にして付属の microSD カードを挿入してから電源を ON にしてください。
SD カードの初期化が必要です	microSD カードの初期化が必要な状態です。microSD カードをフォーマットしてください。(→ P.32)
SD カードエラーです	<ul style="list-style-type: none"> microSD カードが異常、または認識できない microSD カードを挿入しています。 録画、記録ファイルの最大件数または枚数を越えたファイルが microSD カードに保存されています。 本機に付属の microSD カードを挿入しても改善されないときは、お買い上げの代理店または代理店が指定した販売店にご相談ください。
録画を中止しました	本機の高温検知などの異常検出により録画を一時的に停止しました。温度が下がっても録画が再開されない場合は、お買い上げの代理店または代理店が指定した販売店にご相談ください。
モード未設定です	音声ガイダンスが繰り返され、録画を開始しません。録画を開始するには、取り付け調整の必要があります。お買い上げの代理店または代理店が指定した販売店にご相談ください。

■ ビューアースフト DRIVE REVIEWER for Rear

質問	原因 / 対処
イベント（衝撃）記録で録画された動画を再生した場合に、再生時間が 20 秒未満のものがある。	電源を ON にした後すぐに衝撃を検知した場合や、衝撃検知した後すぐに電源を OFF した場合には、20 秒未満の映像になります。
記録できた映像は、事故の証拠として認められるのですか？	本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
記録した映像は、Windows Media Player 等の汎用ソフトで見えることはできますか？	再生ソフトによっては再生できない場合があります。また、速度や位置などの情報は確認できません。
ビューアースフトを消してしまった。	専用サイトからインストーラーをダウンロード (→ P.19) し、再度インストールしてください。
パソコンに microSD カードを挿入しても認識しません。	microSD カードが正しく挿入されていない可能性があります。再度 microSD カードやカードアダプターを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識できていない可能性もあります。カードアダプターから microSD カードを取り出して、挿入しなおしてください。カードリーダーについては、カードリーダーに付属の説明書を参照してください。
ビューアースフトが起動しない。	ビューアースフトの動作環境をご確認ください。問題がない場合は、再度インストールしなおしてください。

質問	原因 / 対処
再生ボタンを押しても映像の再生が始まらない。	ファイルを読み込み直してください。それでも再生しないときはファイルが壊れている可能性があります。
再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • ビューアースoftの音声記録 (→ P.30) が「OFF」になっている可能性があります。また、ビューアースoftの音量設定またはパソコンの音量設定が最小になっていないかご確認ください。 • 設定を変更しても音声が出ない場合は、本機の内蔵マイク (集音部) が覆われていないかご確認ください。 • 荷物などが本機に当たり、「音声記録」が「OFF」になっている場合があります。
再生時に映像が乱れたり、音声が途切れたりする。	ご使用中のパソコンの動作環境が推奨する動作環境を満たしているかご確認ください (→ P.19)。パソコンのスペックが低かったり、他のアプリケーションが起動していると、再生や音声が途切れることがあります。
地図の自車位置が実際とずれている。	電源を入れた直後の起動時やトンネル、高架下、ビル街などの走行時、GPS 衛星の状態によっては GPS の情報が正常に受信できず、位置がずれることがあります。
速度が実際とずれている。	速度は GPS の情報から取得しており、電源を入れた直後の起動時やトンネルや高架下、ビル街など走行する場所や、GPS 衛星の状態によっては、速度がずれた表示になることがあります。
動画画質の標準画質と高画質の違いはなんですか？	標準画質に比べ、高画質はより綺麗な画質で撮影できますが、録画できる時間が短くなります。
スムーズに再生されない。	「DRIVE REVIEWER for Rear」の他にアプリケーションが起動している場合は他のアプリケーションを閉じてください。
ファイル名の年月日がずれている。	GPS が正しく受信されていないときに録画したファイルは年月日が古い (最後に GPS を受信したときの年月日に近いものを表示します。) または、年月日が表示されません。
グラフに加速度と速度が表示されない。	本機の電源を ON にした後、1 分以内に電源を OFF にしたり、電源が ON になっているときに、microSD カードを取り出した場合、加速度と速度の情報が記録できないことがあります。
地図が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • インターネットに接続していない。またはネットワークの回線状況が悪い。 • 本機の電源を ON にした後、1 分以内に電源を OFF にしたり、電源が ON になっているときに、microSD カードを取り出した。
グラフの前後方向の加速度が、水平面に停車状態でも 0.2G (または - 0.2G) 付近となる。	モード設定が間違っている可能性がありますので代理店または代理店が指定した販売店にご相談ください。

主な仕様

■ 本体

動作温度範囲	- 20 ~ + 65℃
保存温度範囲	- 30 ~ + 85℃
本体サイズ	W79.0 × H22.5 × D48.2mm (マウントブラケット搭載時 H51.2mm)
質量	約 87g (ブラケット、ケーブル含まず)
電源電圧 (動作電圧範囲)	DC14V (8.5 ~ 16V)
最大消費電流	0.4A (電源電圧 14V 時)
G センサー	内蔵、最大 4.0G、0.1G 単位
GPS アンテナ	内蔵、GPS 受信、グロナス非対応
記録媒体	microSD カード (同梱：8GB)

■ 映像仕様

映像素子	1/3 型カラー CMOS
有効画素数	3M (センサー画素数 4M)
撮影画角	水平：約 117 度 × 垂直：約 63 度
記録フレーム数	27fps
画像サイズ	高画質：FULL HD (1920 × 1080) 12.0Mbps 標準画質：FULL HD (1920 × 1080) 6.5Mbps 長時間画質：HD (1280 × 720) 3.8Mbps
記録フォーマット	MP4 (H.264+AAC)
HDR	○ (ON 固定)

免責事項について

- お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

ソフトウェアについて

MD5 utility

```
/* crypto/md5/md5.h */
```

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

CRC utility

COPYRIGHT (C) 1986 Gary S. Brown. You may use this program, or code or tables extracted from it, as desired without restriction.

First, the polynomial itself and its table of feedback terms. The polynomial is $X^{32}+X^{26}+X^{23}+X^{22}+X^{16}+X^{12}+X^{11}+X^{10}+X^8+X^7+X^5+X^4+X^2+X^1+X^0$

Note that we take it "backwards" and put the highest-order term in the lowest-order bit. The X^{32} term is "implied"; the LSB is the X^1 term, etc. The X^0 term (usually shown as "+1") results in the MSB being 1

Note that the usual hardware shift register implementation, which is what we're using (we're merely optimizing it by doing eight-bit chunks at a time) shifts bits into the lowest-order term. In our implementation, that means shifting towards the right. Why do we do it this way? Because the calculated CRC must be transmitted in order from highest-order term to lowest-order term. UARTs transmit characters in order from LSB to MSB. By storing the CRC this way we hand it to the UART in the order low-byte to high-byte; the UART sends each low-bit to high-bit; and the result is transmission bit by bit from highest- to lowest-order term without requiring any bit shuffling on our part. Reception works similarly

The feedback terms table consists of 256, 32-bit entries. Notes

The table can be generated at runtime if desired; code to do so is shown later. It might not be obvious, but the feedback terms simply represent the results of eight shift/xor operations for all combinations of data and CRC register values

The values must be right-shifted by eight bits by the "updcrc" logic; the shift must be unsigned (bring in zeroes). On some hardware you could probably optimize the shift in assembler by using byte-swap instructions polynomial \$edb88320 CRC32 code derived from work by Gary S. Brown.

GPSD

BSD LICENSE

The GPSD code is Copyright (c) 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002 by Remco Treffkorn. Portions of it are also Copyright (c) 2005 by Eric S. Raymond. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:<P>

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.<P>

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.<P>

Neither name of the GPSD project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オープンソースソフトウェアについて

ビューアーソフトには、GNU General Public License, version 3 その他のソースコードの配布を要求しているオープンソースソフトウェアライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアが含まれています。これらのソフトウェアのソースコードは、以下の専用サイトからダウンロードいただけます。

<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/>

About Open Source Software included in the viewer software

This viewer software includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License version 3 (GPLv3) and different copyright licensees, disclaimers and notices. The source code of software licensed under GPLv3 and different copyright licenses, disclaimers and notices are distributed at the website below,

<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/>

商標について

- microSDHC ロゴは、SD-3C LLC の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Google Earth は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Intel Core は、Intel Corp. の登録商標または商標です。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証について

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・代理店または代理店が指定した販売店」等の記入をお確かめの上代理店または代理店が指定した販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについてはお買い上げの代理店、代理店が指定した販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

<問い合わせ先>

JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-977-846 (ディーラーオプション専用窓口)
FAX 045-450-2308

住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

(土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(→ P.34) を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの代理店または代理店が指定した販売店にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの代理店または代理店が指定した販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は…

お買い上げの代理店または代理店が指定した販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの代理店または代理店が指定した販売店にご遠慮なくお問い合わせください。

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12